

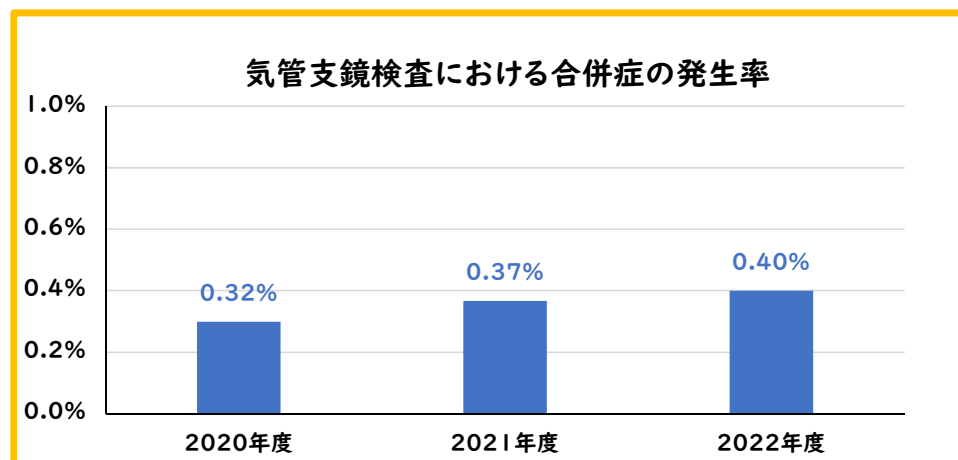
I 気管支鏡検査における合併症の発生率

呼吸器・感染症内科

◆解説◆

気管支鏡検査では出血や気胸などの合併症が起こり得ます。当科では年間200～300件の気管支鏡検査を行なっていますが、合併症の頻度を公開することで安全に検査が行われていることがわかります。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2022年度の気管支鏡検査における合併症は252件中1件(0.40%)でした。その1件とは、検査後に発症した肺炎で、抗菌薬での治療によって改善しました。

◆定義◆

分母:当院での全ての気管支鏡検査の件数、分子:に対する合併症の発生件数の割合